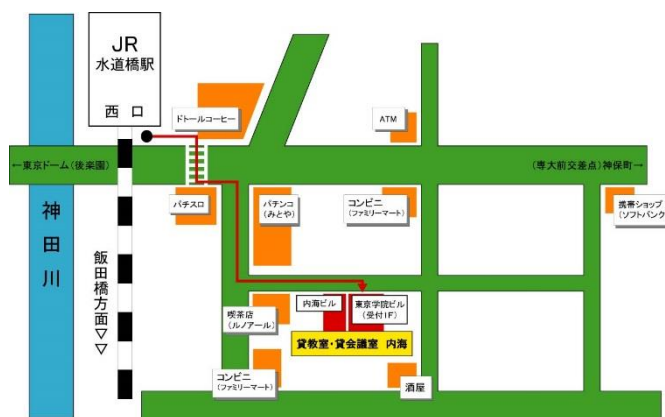


主催:一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、7月10日に予定していました、講義④フィールドワークを第3期（2021年3月4日）に延期し、会場は2階教室から3階教室（定員120名）に変更します。

三菱UFJ銀行 生野支店 普通預金 3936599
 名義 一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
 理事長 仲尾宏



【第1期講座】

一日目（7/9）

講義① “ハーフ”がひらく日本社会のダイバーシティ

講師 サンドラ・ヘフェリンさん（作家・タレント）

日本とドイツの「ハーフ」サンドラさんが、ご自身の体験や今まで出会ってきたさまざまな国の「ハーフ」の人々を通じて感じてきた、世間の「イメージ」と「現実」とのギャップ、言葉・容姿・イジメなど日々の生活で直面する問題。サンドラさんには、それらを明らかにしていただき、日本社会の真のダイバーシティとは何かについてお話しいたします。

【プロフィール】

ドイツ・ミュンヘン出身。日本歴18年。自身が日独ハーフであることから、「ハーフはナニジン?」「ハーフとバイリンガル教育」「ハーフと日本のいじめ問題」「ハーフと海外のいじめ問題」など「ハーフ」の中のテーマを中心に執筆活動をしている。近著に『体育会系 日本を蝕む病』（光文社新書）や『ハーフが美人なんて妄想ですから!!』（中公新書ラクレ）など多数。

講義② 在日コリアン弁護士から見た日本社会のヘイトスピーチ

講師 姜文江^{きょう ふみ え}さん（弁護士、在日コリアン弁護士協会・代表）

姜文江さんは、2016年、川崎でのヘイトデモを禁止する仮処分命令申立事件の申立人代理人となって以降、大量の懲戒請求を受けるようになりました。そして彼／彼女たちとの闘いは未だに続いています。その闘いを通じて、考えられたこと、取り組まれたことなどを中心に、昨今のヘイトスピーチ問題についてお話しいたします。

【プロフィール】

2000年弁護士登録。神奈川弁護士会。在日コリアン弁護士協会・代表。主な著書として『裁判の中の在日コリアン』（共著、現代人文社）『在日コリアン弁護士から見た日本社会のヘイトスピーチ』（共著、明石書店）など多数。

講義③ 在日コリアン—二つの名前—

講師 藤原 史朗さん（KMJ 常務理事）

藤原さんは高校教師として、生涯をかけて在日コリアン生徒の進路保障そして「本名」問題に全力注がれてきました。「在日の最大のヘイトは通名だ」と言われます。日本人という立場だからこそ見える在日コリアンの真の姿、人権教育のあり方、などについてお話しいたします。

【プロフィール】

尼崎市立尼崎高校元教諭。全国在日外国人教育研究協議会元会長。現在、KMJ 常務理事。著書に『育ち行く者たちと共に』（新教出版社）『生徒がチョゴリを着るとき』（明石書店）など。

【第2期講座】（10/9）

講義⑤ 東アジアの中の日本と朝鮮半島—近世編—

講師 仲尾 宏さん（KMJ 理事長）

長い歴史のある日朝の交流史について、去年は仲尾さんに中世を中心にお話しいたしました。今回はその後編、近世です。日本は室町後半から戦国時代、江戸における交流史が中心です。

【プロフィール】

1936 年生まれ。日朝関係史学者。1960 年同志社大学法学部政治学科卒業。京都造形芸術大学客員教授、KMJ 理事長など。

講 義⑥ 戦後日本の在日朝鮮人政策

講 師 チョン ヨン ファン
鄭 栄 桓 さん（明治学院大学教授）

戦後日本は在日朝鮮人にたいしてどのような考えで、どのような政策を実行してきたのでしょうか。在日コリアンの人権を考える上で基本事項です。戦後在日朝鮮人研究の若手の第一人者である鄭さんにお話しいただきます。

【プロフィール】

1980 年、千葉県生まれ。専攻は在日朝鮮人史、朝鮮近現代史。主な著書に、『忘却のための「和解」－「帝国の慰安婦」と日本の責任』（世織書房）『朝鮮独立への隘路－在日朝鮮人の解放五年史』（法政大学出版局）他、多数。

講 義⑦ 日本の朝鮮植民地支配－日本は朝鮮に何をしたのか－

講 師 加藤 圭木さん（一橋大学社会学研究科准教授）

加藤さんは「日本による朝鮮侵略と植民地支配は、日本国家・社会が行った深刻な人権侵害であり、数多くの人びとの尊厳を脅かしましたが、その歴史はいまだに十分に明らかにされたとはいえません。日本国家・社会が過去に行ったそうした行為の実態を明らかにすることで、被害者の尊厳の回復の道を探り、一人ひとりの人権が真に尊重される民主的な社会をつくりあげていくことにつなげていきたい」と語ります。昨今の日韓関係、在日コリアンの人権を考える上で重要なテーマです。

【プロフィール】

1983 年生まれ。専攻は朝鮮近現代史、日朝関係史、歴史教育。主な著書に『だれが日韓「対立」をつくったのか－徴用工・「慰安婦」、そしてメディア』（編著、大月書店）『日本植民地研究の論点』（共編著、岩波書店）など多数。

【第 3 期講座】

(3/4)

講 義④ フィールドワーク（講義番号はそのままとします）

「武蔵野周辺の日本と朝鮮－渡来人・強制連行・戦後生活史」

案 内 浅川地下壕を保存する会

【訪 問 先】

①深大寺（東京都調布市）

渡来人の子孫が開山したとされています。本尊の釈迦如来像は百済様式の金銅仏。また有名な「深大寺そば」も渡来人伝来と言われています。

②浅川地下壕（東京都八王子市）

戦時中、高尾駅南にある金比羅山地下に陸軍浅川倉庫として掘られていた巨大な地下壕。7000 名近くの朝鮮人労働者が従事していたとされています。

③調布多摩川旧コリアタウン（東京都調布市）

戦中、調布市周辺は多摩川の砂利運搬の労働力として、朝鮮半島出身者が多く住むようになりました。戦後、行き場のない朝鮮人たちは、多摩川の河川敷に住むようになり、小さなコリアタウンを周辺に形成していきます。

*フィールドワークの詳細につきましては、お申し込みいただいた方に後日、ご案内します。
*当初、川崎戸手教会の訪問を予定していましたが、先方の都合により変更しました。

(3/5)

講 義⑧ ドキュメンタリーの上映とトーク

[ドキュメンタリー映画上映] (100 分) 『花はんめ』 (2004 年)

(15 分) 『花はんめとその後』 (2019 年)

[トーク] (60 分) ^{キム ソン ウン}金 聖 雄さん (映画監督)

映画「花はんめ」は川崎の桜本に住む「ハンメ」(在日のおばあちゃん)たちの、せつなくとも、まぶしい物語。監督の金さんは「母や在日一世たちが、歴史の渦に飲み込まれながらも、日本という舞台でたしかに生きた、生きているというあかしを残したい」という思いでこの映画をつくられました。「私に出来ることは、小さなお墓を創るような気持ちで、映画をつくることでした」。あれから 15 年の歳月が過ぎ、いまや川崎桜本はヘイトデモのターゲットに。「あのハンメたちはどうしているのだろうか」を胸に撮影したのが『花はんめとその後』です。この二本を鑑賞していただき、金さんより、映画の背景や思いなどについてお話しいただきます。

【プロフィール】

1963 年大阪・鶴橋生まれ。大学卒業後広告会社勤務。退職後、東京にて料理写真家の助手を経験後、助監督になる。1993 年からフリーの演出家としてスタート PR 映像やドキュメンタリー、テレビ番組など幅広く手がける。1997 年映画「在日」で助監督をつとめ、2004 年、在日 1 世のおばあちゃんの日常を 4 年間追いかけたドキュメンタリー映画「花はんめ」を監督。2012 年 1 月ドキュメンタリー映画「空想劇場」、2013 年「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」は毎日映画ドキュメンタリー映画賞受賞。2015 年「袴田巖 夢の間の世の中」、2018 年「獄友」など幅広く活躍。

【スケジュール】

7 / 9 (木)	10 / 9 (金)	3 / 4 (木)	3 / 5 (金)
9:30 受付開始	9:30 受付開始	フィールドワーク の行程は後日お送りします。	13:15 受付開始
9:55 開 会	9:55 開 会		13:45 講義⑧
10:00 講義①	10:00 講義⑤		16:55 終 了
11:50 昼 食	11:50 昼 食		
13:00 講義②	13:00 講義⑥		
14:50 休 憩	14:50 休 憩		
15:00 講義③	15:00 講義⑦		
16:50 閉 会	16:50 閉 会		
17:00 終 了	17:00 終 了		

第22回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

受講（聴講）申込書

(FAX 06-6717-2702)

☐ 受講（7講義とフィールドワークすべて受講される方です）

☐ 聴講（聴講希望講義番号 _____）

*聴講希望の場合は、講義番号をご記入下さい。例えば、サンドラ先生の講義のみ聴講したい場合は①、フィールドワークの場合は④複数の場合は①②④⑥とご記入下さい。

講義①	「“ハーフ”がひらく日本社会のダイバーシティ」サンドラ・ヘフェリンさん
講義②	「在日コリアン弁護士から見た日本社会のヘイトスピーチ」姜文江さん
講義③	「在日コリアン—二つの名前—」藤原史朗さん
講義⑤	「東アジアの日本と朝鮮半島—近世編—」仲尾宏さん
講義⑥	「戦後日本の在日朝鮮人政策」鄭栄桓さん
講義⑦	「日本の朝鮮植民地支配」加藤圭木さん
講義④	フィールドワーク 武蔵野周辺の日本と朝鮮（3/4に変更）
講義⑧	ドキュメンタリーの上映とトーク

フリガナ			
受講者		勤務先名 担当部署	
住所 電話 FAX	〒 TEL FAX		

*複数名参加の場合は下記に受講（聴講）者名と担当部署をご記入ください。

受講（聴講）者名	担当部署	受講・聴講
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 _____）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 _____）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 _____）

*第1期講義（7/9 木曜日）終了後の懇親会はその時の状況によって判断します。

【連絡先】

一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
 担 当 高敬一（コ・キョンイル）まで
 〒544-0033 大阪府大阪市生野区中川西3-10-18
 TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702
 e-mail : kmj@star.odn.ne.jp URL : http://kmjweb.com